

「被災地」のいま ～地方自治体リーダーの発信～



吉岡 庭二郎（よしおか ていじろう）
島原元市長
雲仙・普賢岳災害時は市収入役。災害直後、島原市長に就任。のちに島原方式と呼ばれた官民一体の運動で、島原の復興に尽力した。
現在は島原半島ジオパーク推進連絡協議会 顧問。
著書に「一陽来復(いちようらいふく)～普賢岳災害復興20年の体験」



戸羽 太（とば ふとし）
陸前高田市長。
平成7年より陸前高田市議会議員を務める。同市助役、副市長を経て、現職。
市長就任直後に東日本大震災により壊滅的な被害を受け、復興に向けた新しいまちづくりを進めている。一日も早く被災者の生活再建を図るとともに、全壊した市街地や被災地域の復興はもとより、地域産業再生と発展を目指し、市民が安心して暮らし、働くことのできる新しい陸前高田市のまちづくりに全力をあげて取り組んでいる。



平川 新（ひらかわ あらた）
東北大学 災害科学国際研究所 所長
2012年4月より現職。博士(文学)
専門は日本近世政治経済史。NPO宮城歴史資料保全ネットワーク理事長。

参加者のみなさんへ

東日本大震災発生から3年目の冬を迎えました。未だ復興の途上にある東北被災地の現状を知り、地方自治体のリーダーとともに災害復興・減災・防災のありかた、大学の知見を活かす方法を考えましょう

2014年1月15日(水) 10:00～12:00
(開場 9:30)

場所:東北大学 工学部中央棟 2F
大講義室

対象:一般(参加無料)

主催: 東北大学 災害科学国際研究所

問い合わせ先:東北大学 災害科学国際研究所
情報管理社会連携部門 社会連携オフィス Tel 022-395-8861